

川西町新庁舎整備検討委員会
第1回委員会 議事録

- 1 日 時 平成29年9月11日（月） 午後7時～午後9時
- 2 場 所 川西町中央公民館 大ホール
- 3 委 員 長谷川潔美委員 岡田清一委員 山口徳夫委員 星野廣志委員
松浦衛委員 山田順一委員 藤倉利英委員 安部眞委員
齋藤二男委員 菅美和子委員 吉村広喜委員 福島誠委員
井上清人委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 町出席者 町長 副町長 総務課長 未来づくり課長 未来創造室長
税務会計課長 産業振興課長 教育総務課長 健康福祉課長
事務局員5名
- 6 アドバイザー 公益財団法人山形県建設技術センター 2名

1 開会

司会（事務局）による開会。

2 設置要綱説明

設置要綱について、事務局が説明。

3 委嘱状交付

設置要綱第3条に基づき、原田町長が委員へ委嘱状を交付。

4 町長挨拶

ただいま委員に御委嘱申し上げた皆様には、貴重な時間をいただくこととなるが、御協力をいただきたい。

本町は昭和30年に誕生してから62年が経過し、役場庁舎は昭和34年に竣工し、築58年が経過した。

平成26年の耐震診断では、震度6強の地震で倒壊の危険性があると診断されたが、一方でこれまで役場の建設は自前が原則とされてきた。

そのような中、平成28年の熊本地震を受け、国が平成32年度までの期限付き支援制度である「市町村役場機能緊急保全事業」を創設した。本町ではこれを受けて直ちに情報収集を行い、支援期限までに新庁舎の整備を行うこととした。

これまで新庁舎の整備については、場所、機能・規模、財政などの視点から検討を進めてきた。皆様からは、様々な観点から御意見をいただきたい。

5 委員紹介

各委員が自己紹介。

- 6 委員長・副委員長指名
設置要綱第5条第2項に基づき、町長が長谷川潔美委員を委員長に指名。
また、同項に基づき、長谷川委員長が岡田清一委員を副委員長に指名。
- 7 説明及び協議
- (1) 委員会の運営について
資料N o. 1に基づき事務局が説明を行い、承認された。
- (2) 検討の経過について
資料N o. 2及びN o. 3に基づき事務局が説明。
- (3) 新庁舎整備に係る町の検討案について
- (4) 当面のスケジュールについて
資料N o. 4から資料N o. 8までにに基づき事務局が一括説明。

【協議内容】

(委員)

整備位置については、基本理念・基本方針に基づき選定するべきではないか。例えば、現在の場所に耐震性能の高い庁舎があったとしても、地震が発生して周りの建物が倒壊し、庁舎への道が塞がれてしまっただけでは何の意味もない。

(委員)

新庁舎整備について、多くの町民に初めて情報が届いたのは、7月28日の整備位置に関する新聞報道であった。町民にとっては突然のことであり、様々な意見や心配があった。今後、ぜひ多くの町民の意見を反映していただきたい。

(事務局)

9月28日から各地区において説明会を開催する。また、アンケートのような形でも広く町民の御意見を聴いていく予定である。

(委員)

町内の人口の割合を見ると、米坂線の線路の西側の住民が多い。建設予定地を考えた場合、どのように道路を使っていくのか、町の案はあるか。

(事務局)

交通網については、庁舎とは別の課題として整理が必要と考えている。過去に同様の検討を行っており、JRとの協議に大きな困難を伴うことが判明している。

(委員)

災害があった時に安全な通路が確保されるため、整備位置については町の案が一番良いと思う。

庁舎は町のシンボリックなものになると思うので、フレンドリープラザや森のマルシェ等との関連を持ち、また緑地も検討しているということであれば、庁

舎の周辺で子ども達が遊べるようなスペースがあれば良いと思う。

(委員)

近年、全国各地で多くの自然災害が発生している。本町は比較的少ないが、羽越水害から50年が経過した中、これからは100年単位で起こる災害への対策が必要と考え、新庁舎の周辺は、スペースに余裕のある環境でなくてはならない。

現在地は、非常に密集している。道路幅も広い方が良いと思う。そのような観点から、町の案には賛成である。

(委員)

町の案に賛成している。できれば、JA山形おきたま本店と往来できるように敷地を繋げていただきたい。私は、川西は農業の町だと思っている。

また、小松の街中は狭く、駅前の信号はバス等の大型車では曲がることも困難であるため、将来的にはアクセスについても改善していただきたい。

(委員)

整備位置について、自分でも事前に色々と調べてみたが、今の役場は敷地自体に高低差があり、非常に問題がある。

羽前小松駅東口周辺については、面積が十分になく、他の土地を購入せざるを得ない。進入路も狭い印象であり難しいと感じた。

町の案は、高低差のないフラットな敷地となる。また、車いす用駐車場を5台確保と記載されているが、駐車場の確保は大きな問題であり、バリアフリーの観点からも理想的な場所である。小松だけではなく、川西町全体のことで考えてもベターな案ではないかと思う。

(委員)

建物の階層について、高層階にならないようにするという事は、バリアフリーも考えてのことなのか。

(事務局)

そのとおり。

現在、3階建て1階あたり1,500㎡程度を想定している。

(委員)

整備位置については、これからの役場を考えると一番大事で色々な意見が出るところと思う。しかし、委員就任のお話をいただいた時、近所の方から「既に位置は決まったのではないか。検討委員会に何をしに行くのか。」と聞かれた。

その後、事務局から詳しく検討の経過を聞き、今回の機会に庁舎整備を行うには、このやり方で進めざるを得なかったとの説明を聞き納得できたが、多くの町民はそのことを知らないと思う。

これから各地区説明会を行うわけだが、時間がない中、このような進め方になったことを理解いただきたい、ということをしつかり伝えていただきたい。

(委員)

住民の方々に丁寧に進めていくということと、場所ありきではなく、なんでこういう場所が必要なのかということの、説明の工夫が必要なのではと感じた。

(委員)

一番心配しているのは、各地区の意見をどのように反映させるかということである。できるだけ多くの意見と情報を反映させて、情報公開をしていただきたい。地区説明会での意見を大切に活かしていただきたい。

(委員)

基本的機能に、議場のことが盛り込まれていない。現在、ひらかれた議会ということで色々活動されていると思うが、今後はネット時代なので、そのようなことに対応した議場の機能を盛り込んでいただきたい。

構造については、コンピューター時代ということで言えば、フリーアクセスフロアとするのか。また、配線は、有線なのか無線なのか。このことは経費に影響するのではないか。

また、ワンストップサービスという記載があるが、これは行うのか。

(事務局)

議会については、議会内の新庁舎整備特別委員会で議論いただいている。

フリーアクセスフロアにするか、無線にするか有線にするかということについては、基本設計段階において検討していきたいと考えている。

ワンストップサービスについては、現在、分散している駐車場を集約すること、ひとつの業務がひとつのフロアで完結すること等をワンストップサービスとして考えていきたい。

(委員)

RC造とはどのようなものか。また、新庁舎建設スペースが3,000㎡、建物の建築面積が1,500㎡ということで、数字が合わないように思うがどのようなことか。

(事務局)

RC造は、鉄筋コンクリート造のことである。

建設スペースについては、建物の建築部分だけではなく、雪の対応、配管の取り回し等で周囲のスペースが必要になるため、それらを含めて3,000㎡と見込んでいる。

(委員)

これからの役場には、若い人、女性、高齢者の意見・考え方を大事にしていきたい。整備位置についても、まずはそのような方々の意見や考え方を聴いた上で考えるべきと思う。町民が気になっているのは整備位置のこと。町の家ありきで進めてしまうと、この委員会はいらないと思う。

また、車を持っていない人のことも考えてほしい。車の免許がない人は役場に行くのは大変。例えば、駅の連絡通路をJRと話をしながら自由に通れるようにする等が必要ではないか。

(委員)

各地区の説明会を行い、住民の意見を聴くことは大切なことである。そこでの意見を許す限り拾い上げていただきたい。

今回の庁舎整備については、本来であれば基本構想があって基本計画という流れであるところ、時間がないということで、基本計画が11月までに完成されるということであるが、これに各地区の意見が盛り込まれることを願う。

また、フレンドリープラザ、森のマルシェなど、庁舎と周辺環境との関わり方を盛り込んでどうか。さらに、省エネや環境への配慮等、庁舎だけではなく、周りの環境との関わり方も併せて説明してはどうか。

(委員)

これまで町長からは、町民と話をして方向性を出していきたいという話があったと思う。また、新庁舎整備の話題が出た当初、農地での新庁舎整備はスケジュール上間に合わないという話もあったと思う。

これからは、住民に対して、なぜこのような形で進めてきたのかということを手帳に説明していただきたい。建設予定地の報道が唐突に出たため、自分が「これを基にこれから色々検討するんだ」と言っても、周囲からは「もう決まったことなのだろう」と言われることがあった。

場所ありきで話を進めては早くは進むかもしれないが、町民には丁寧に説明をしていただきたい。丁寧に進めれば町民も納得すると思う。

(委員)

議会全員協議会の後に各地区説明会を行うのか。

(事務局)

議会全員協議会の後に再度本委員会を開催させていただき、基本計画案について御議論いただいた後、各地区説明会を開催したいと考えている。

(委員)

議会全員協議会において、本日の委員会において出た意見等を報告するのか。

(事務局)

本委員会の意見を議会に報告し、議会の意見も伺っていきたい。

(委員)

第2回委員会の開催日程は。

(事務局)

9月25日、26日、27日のいずれかで調整したいと考えている。

(原田町長)

貴重なご意見をいただき感謝申し上げます。

現在の進め方について、町民の皆様が混乱しているということは、町としても受け止めている。具体的なやり取りは、これから丁寧に進めていく。

本日、様々な御意見をいただき、我々も視野を広くしなければならぬと思った。今までの60年近い現役場庁舎を中心としたまちづくりの歴史も大事にしていかななくてはならないと思う。

いただいた御意見を再整理して、これから議会に原案をもって説明していく。また、その後の基本設計においては、町民の皆さんから様々な御意見をいただくような場面を設けていく。今回の基本計画は、基本構想・基本計画レベルとして策定し、将来のビジョンを作っていく。

今後、議事録等も委員の皆様にお送りしながら丁寧に進めていきたい。

(委員)

整備位置については、どの場所にしても、便利になる人もいれば、必ず不便になる人もいる。川西町の高齢化率は約33%だが、例えば車の運転ができる人は駐車場があればいいと思うが、運転ができない方にどのように対応するのか等。

庁舎だけではなくて、これからのまちづくりという大きな枠組みの中で、庁舎をどこに作って、できるだけ多くの方々が利便性を感じることができるようになるかという視点で、まちづくりのプランを示していかななくてはならないと思う。移った後の旧役場跡地を核としたまちづくりということも考えないといけない。短い時間の中ではあるが、そこを両方進めていく必要があると思う。

(5) その他

特になし

8 その他

特になし

9 閉会

司会（事務局）による開会。